

課題 番号	試験研究課題名 及び実施研究機関	実施 期間	研究概要	評価所見	総 括 評 価	研究成果の行 政施策・措置へ の反映方針
2033 0843	臭化メチルの代替 の消毒方法の確立 及び安全性の確保 (臭化メチルの安 全性の向上に係る 研究) 【実施研究機関】 (一財)残留農薬研 究所	R2～ R3	<p>(背景・目的)</p> <p>臭化メチルは、農薬取締法に基づき登録された農薬であるため、人体や環境への影響に関する最新の科学的データを整備し、使用上の安全性を確保することが求められている。その為、現行の臭化メチルを用いた消毒措置の継続が必要な品目を対象に、科学的データに基づき人体等への安全性を担保しつつ、検疫上の安全性を確保した新たな消毒基準を策定する必要がある。</p> <p>臭化メチルの暴露評価に関する科学的知見を得るために簡易で迅速な臭化メチル及び臭素の分析法(必要な真度、精度及び感度を有する)、並びに、読み替え手法等を確立することを目的とする。</p> <p>本研究では、分析法の開発としては、標準溶液の安定性、分析法の検討、分析法の妥当性を確認し、実態調査としては、臭化メチルクン蒸処理による残留実態の把握、読み替え手法等の確立を行う。</p> <p>(研究項目)</p> <p>①分析法の開発 ②実態調査等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 臭化メチル、臭素及び臭素酸の簡易・迅速な分析法開発については目標を達成した。また、臭素から臭化メチルへの読み替え手法については、油糧種子を対象に、臭素の作物残留データから臭化メチルの残存日数を推測する手法を開発した。これらの成果により、研究目標は概ね達成されたと評価する。 分析法及び読み替え手法の確立については、これまで国内で研究等が行われていないものであり、先導性は十分にあると考える。 臭素及び臭化メチルの分析法は行政措置に活用できると考えるが、実際に残留分析を行う機関において機器等の整備が必要となることから、関係者との調整が必要と考える。また、油糧種子以外の農産品について読み替え手法を実施するには、追加的な調査が必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 読み替え手法の精度等を向上させるため、追加試験について検討・実施・確立した分析方法、農産物グループ別の残留臭化メチルの減衰傾向及び読み替え手法を公表